

第3回四日市市中心市街地活性化推進方策検討会議 意見まとめ

■立地場所について

立地場所	内容
鶉の森公園	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性は良くない。 ・子どもが遊んでいる／遊んでいない。(両方の意見) ・中心市街地の回遊性や周辺への波及について期待できる。 ・“鶉”という名前を活かし、観光資源として活用する。“Sharp Eyes”など ・植栽等の管理が問題。薄暗い。全体のランドスケープを考える必要がある。
諏訪公園	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性は良くない。 ・子どもが遊んでいる／遊んでいない。(両方の意見) ・中心市街地の回遊性や周辺への波及について期待できる。 ・すわ公園交流館(文化財)や庭園など既存施設を活かした再整備はやりがいがある。 ・地下の構造物が課題。駐車場(振興組合所有)との調整に時間がかかる。
市民公園	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性はよい。 ・ホテル、商業施設もありいい場所。 ・地下の構造物が課題。
市役所前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性はよい。 ・未利用で使いやすい。

■施設としての必要条件について

機能	内容
機能・サービス全般	<ul style="list-style-type: none"> ・予算規模がわからないと判断しにくい。 ・他の事例から指定管理者制度など運営を管理に任せると良くなる。 ・家でもなく、職場でもない「サードプレイスをつくろう」ということだと思ふ。 ・港、コンビナート、工場誘致など先進的な事に取り組んできた四日市の歴史～考え、もう一步進んだシンボルを考えたい。 ・ヨーロッパはカフェ、緑を上手く使って常時人が集まる、イベントが行われる空間を作っている。 ・ICTにより図書館だけでなく市民生活自体が変わる。
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の役割分担(学術的なものは大学など)。アメリカでは90%が電子図書館。 ・今後10年を考えると電子図書館を機能として持つことになるのではないか。 ・勉強する環境(スペースだけあればいい)、静かな環境、カフェがある環境(スターバックスで勉強、本を読む)。 ・利用者の立場から駐車場が足りない。 ・行政の中で図書館の方向性について検討されている事を教えてほしい。 ・TUTAYA 図書館がいい意味でも悪い意味でも注目されている。
市民活動との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・緑費率を高める。“Edible”、食べられる果実がなる木を植えてみんなで管理をする。 ・中央通りの活用を考える。